

中国株ウィークリーレポート

2020/2/17

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	19年末株価
NYダウ	29,398.08	-25.23	-0.09	1.02	3.01	28,538.44
NASDAQ	9,731.18	19.21	0.20	2.21	8.45	8,972.60
日経225	23,687.59	-140.14	-0.59	-0.59	0.13	23,656.62
上海総合	2,917.01	10.93	0.38	1.43	-4.36	3,050.12
滬深300(CSI300)	3,987.73	27.82	0.70	2.25	-2.66	4,096.58
ハンセン	27,815.60	85.60	0.31	1.50	-1.33	28,189.75
中国企業	10,863.45	28.07	0.26	1.48	-2.73	11,168.06

【株式概況】

先週の動き: ハンセン指数は1.5%高と続伸、上海総合指数は1.4%高

香港市場ではハンセン指数が週間で1.5%高と続伸した。足元で中国の新型コロナウイルスの感染拡大ペースが鈍化していることから景気への過度の警戒感が後退。中国政府による景気支援策への期待も高まり、ハンセン指数は週央にかけて戻りを試す展開となった。ただ、湖北省で集計方法見直しによる感染者数の急増が伝わると地合いが悪化。旧正月連休前の水準近くでは戻り売りに押され、その後は一進一退の展開となった。本土市場では上海総合指数が週間で1.4%高と4週ぶりに反発。感染拡大の鈍化で買い戻しの動きが続いた。

今週の展望: 香港市場は上値の重い展開か、景気支援策への期待は継続

香港市場は上値の重い展開か。新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動への影響が懸念されるものの、新型コロナウイルスの新規感染者数が足元で鈍化傾向にあるほか、中国政府による景気下支え策への期待が引き続き支援材料となりそうだ。ただ、指数が旧正月連休前の水準に近づくにつれ戻り売りに押される局面も想定される。本土市場も上値の重い展開となりそうだ。ポジティブな材料も多いが、証券各社が1-3月期のGDP予想を相次いで引き下げるなど景気の先行きに対する警戒感も根強く、戻り売り圧力が強まることも予想される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 碧桂園(02007)	11.02	7.62
2 吉利汽車(00175)	14.48	7.26
3 中国海外発展(00688)	28.65	6.70
4 創科実業(00669)	70.90	6.70
5 中国生物製薬(01177)	11.78	4.80
6 華潤置地(01109)	36.20	4.78
7 銀河娛樂(00027)	57.20	4.57
8 恒隆地産(00101)	18.20	4.36
9 中銀香港(02388)	27.90	4.30
10 サズ・チャイナ(01928)	40.45	3.72

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国蒙牛乳業(02319)	29.80	-4.18
2 チャイナ・モバイル(00941)	65.10	-3.27
3 チャイナ・ユコム(00762)	6.71	-2.89
4 Link REIT(00823)	78.70	-2.42
5 申洲国際集団(02313)	106.10	-2.21
6 石業集団(01093)	19.02	-2.06
7 中国旺旺(00151)	6.32	-1.56
8 中国人寿保険(02628)	19.28	-1.53
9 ヘトロチャイナ(00857)	3.45	-1.43
10 瑞声科技(02018)	57.45	-1.12

▼今週の主なイベント

- 2月17日(月)
- 【米国】プレジデントデーで休場
- 2月20日(木)
- 【中国】最優遇貸出金利

▼今週の期待材料

- ◆20日発表の中国の最優遇貸出金利は引き下げの公算、金融緩和期待が相場の下支え要因に
- ◆新型コロナウイルスの専門病院「雷神山医院」の院長が「感染状況の転換点はもうすでに来ている」と発言
- ◆中国証券監督管理委員会が上場企業の増資規制を緩和すると発表、銀行監督当局は不良債権の基準を緩和

▼今週の懸念材料

- ◆新型コロナウイルスの感染拡大への警戒感がくすぶる公算、16日時点で感染者は7万548人、死者1770人に拡大
- ◆証券各社が相次いで中国の1-3月期GDP見通しを引き下げ、UBSは成長率予想を3.8%に下方修正
- ◆武漢市当局が14日に予定していた企業活動の再開時期を21日以降に延期、企業業績への懸念強まる公算

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ HSBC (00005) : 18日に19年12月本決算を発表、市場予想は3%増益
- ☆ サズ・チャイナ (01928) : 21日に19年12月本決算を発表、市場予想は11%増益
- ☆ 中国平安保険 (02318) : 20日に19年12月本決算を発表、市場予想は48%増益
- ☆ 東方証券 (03958) : 19年12月本決算速報値は株式相場の上昇で96%増益
- ☆ 衆安在線財産保険 (06060) : 1月の保険料収入は14.85億元、前年同月比62%増
- ★ 東亜銀行 (00023) : 19日に19年12月本決算を発表、市場予想は51%減益
- ★ 中国東方航空 (00670) : 1月の旅客数が5%減少、貨物輸送量も5%減
- ★ 華潤電力控股 (00836) : 1月の電力販売量が5%減少、主力の火力発電も5%減
- ★ レノボグループ (00992) : 20日に19年10-12月期決算発表、市場予想は5%減益
- ★ アリババ集団 (09988) : 1-3月期の国内EC事業は新型コロナウイルスの影響で減収の可能性も

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。